

平成 29 年度 横浜市若葉台地域ケアプラザ事業実績評価

平成 29 年度の評価	
全事業共通	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター職員に欠員が生じた期間がありました。職員体制の安定化を図ってください。 ・5職種（地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーター、社会福祉士、主任ケアマネジャー、保健師）の連携強化を課題と捉え、職種間で定期的に情報交換を行ったり、協力して事業を実施したりするなど、「地域ケアプラザ全体で取り組む」という姿勢が評価できます。今後も、5職種それぞれの視点を生かし、各自の得意分野をうまく組み合わせて、地域の課題解決に取り組まれることを期待しています。
地域活動交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・地域の各種団体と積極的に関わりながら、地域ニーズの把握に努め、新たな事業を展開するための土台作りが進んでいます。今後、子育て支援やボランティア育成など、課題と考えている分野について、具体的な取り組みが進み、事業として発展していくことを期待しています。
生活支援体制整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・地域住民の意見を参考にしてボランティア養成講座を実施する等、担い手の育成に尽力しました。 ・今年度の協議体の成果を次年度以降の地域支援の取組につなげていただくことを期待しています。
地域包括支援センター運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています ・地域住民のニーズを取り入れて認知症カフェを実施・継続されています。カフェのボランティアの育成もケアプラザ内で連携して行い、具体的な取り組みが進んでいます。来年度も継続発展していくことを期待しています。 ・5職種で連携を取りながら、地域住民や関係機関等と積極的にかかわり、連携推進に取り組んでいたと思います。これからも5職種の連携を生かし地域課題に取り組まれることを期待しています。
<p>< 評価 (S/A/Bの3段階) ></p> <p style="text-align: center;">A</p>	